



心が動くこと

園長 貞方敦子

本園のわくわく野草園には、今、クローバーの芽が出てきています。日を追うごとに、クローバーの葉がはっきりし、今後の生長が楽しみです。このクローバー畑で、四葉探しをしたり、葉っぱをとって色水にしたり、花が咲いたら、冠ができるかも・・・などと、想像するとわくわくします。

先日もこのわくわく野草園で、大きなカエルを発見しました。こどもたちは、このカエルを捕獲しようと、友達と一緒にカエルの行き先を追っていました。「あっちに行った!」「ほら、そこそこ」「どこ?」「こっち向いているでしょ」「あみ、貸して」など、友達と口々に言う姿が見られました。結局、カエルは捕まえられませんでした。その出来事がよほど印象に残ったのでしょう。一人のお子さんが、カエルを絵に描いてきました。「園長先生、カエルの絵を描いたんだ」と見せてくれた絵は、丁寧に4つに折りたたまれていました。てっきり、私にくれるのかと思ったら、「お母さんにあげるんだよ」と言われてしまいました。私の勘違いです。このお子さんのように、自分から描きたいと思って、園にある材料を使い、描きあげるって素敵だなと思います。そして、その絵を媒介に、その時のことを思い出しながら話をするのもいいなあと思います。描きたい!と心が動いて描いた絵です。



私たち教師は、こどもたちの「やってみたい」「やってみようかな」という気持ちを支えると共に、十分できる環境になっているか、日々点検していくことを努めています。一人一人のお子さんが積み重ねてきた経験を踏まえてその子の言動から内面の動きを捉え、その子に育ちつつあるものを読み取ります。そして、その子の発達に必要なことはなんだろうか考えるのです。これからも、こどもたちが「あのさ・・・」と話してくる気持ちをしっかりと受け止め、しっかりと聴くことをしたいと思います。言葉を通して、「対話」ができるように、幼児期から意識した生活を積み重ねていきたいと考えています。

今日も、心が動く体験を!

今日の指導のポイント

年中りんご組

運動会を終え、こどもたちは、自分たちが踊ったダンスだけでなく、年長組のダンスやリレーなど年長児に教えてもらいながら繰り返し行うことを楽しんでいました。また、学級全体で行ったコーディネーショントレーニング週間での取組を経て、ジャングル鬼ごっこをはじめ、多様な動きを楽しむ姿が見られます。少しずつ肌寒くなってきましたが、引き続き体を動かす楽しさを味わったり、ルールのある運動遊びを楽しめるようにしたりしていきます。

園庭では、落ち葉や葉の色の変化に気付く姿が見られます。今月に予定している園外保育では、更に秋の自然に興味・関心をもって関わられるように、自然物を見つけたり集めたりします。

生活面では、職員室に出欠状況を伝えるに行く「お休み調べ当番」がスタートしました。年長児に教えてもらったことを思い出しながら、自分たちで取り組んでいます。できるようになったことが増えた喜びや満足感を、十分に味わえるようにしていきます。

年長にし組

運動会では、リズムやリレーだけでなく、司会や係など、自分のやる事が分かり、進んで取り組もうとする姿が見られました。学級の友達と力を合わせて取り組んだり、自分の目標に向かって挑戦したりすることを通して、達成感や満足感を味わうことができました。引き続き、様々な運動遊びに取り組めるようにし、一人一人の自信につなげていきたいと思っています。また、ルールのある遊びを通して、友達とルールを共通にしなが、自分たちで遊びを進める楽しさを味わえるようにしていきます。

こども会に向けての取組では、自分たちのしたいことを考え、する内容や必要なものをグループで相談し、進めていきます。自分の思いを言葉で伝えたり、友達の言葉を聞き、相手の思いに気付いたりしながら活動を進めていかれるよう援助していきます。そして、自分たちのイメージしたことを様々な方法で表現する楽しさを味わえるようにしていきます。